

2018年12月18日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院眼科に、ぶどう膜炎で通院歴のある患者さん及びその親権者の皆様へ

和歌山県立医科大学眼科学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われた方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

ぶどう膜炎後ろ向き疫学調査

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学眼科学講座 准教授(職名) 岡田 由香

3. 研究の目的

ぶどう膜炎の原因は人種や世界の地域によって大きく異なっています。そこで、今回日本の眼炎症学会が中心となってわが国におけるぶどう膜炎の原因疾患について調査することとなりました。日本全国の大学病院を含む20のぶどう膜炎診療を行っている施設がこの調査に参加する予定です。この調査に当院も参加し、日本のぶどう膜炎の原因疾患構成解明を行ないたいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

ぶどう膜炎の患者さんで、平成28年4月1日から平成29年3月31日までの期間中に、検査及び治療を受けた方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、視力、視野、眼底検査、採血、画像検査、治療方法に関する情報です。

(3) 方法

評価の観点として、年齢、性別、ぶどう膜炎の原因疾患名、罹患部位との関連性について検討します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが患者及び親権者の方には、ご自身やお子様の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学眼科学講座 担当医師 山口 雄大

TEL : 073-441-0649 FAX : 073-448-1991

E-mail : y-yudai@wakayama-med.ac.jp